

平成27年度「京カグランプリ」発表事例一覧

	所属名	事例名(取組概要)
1	山城広域振興局 農林商工部企画調整室	毎月3日を京やましろ産ごちそうさんの日に 新鮮でおいしい山城農産物(たからもの)を地域の皆さんに食べてもらうため、プラットフォームを創設し、生産者、消費者、飲食店等が一体となって、地産地消宣言や毎月3日を「京やましろ産ごちそうさんの日」を公表。料理研究家による出張料理サービス、企業食堂での山城産利用等の取組を実施。
2	南丹広域振興局 南丹保健所福祉室	京都丹波で輝く福祉人材を! 福祉人材の確保・定着のため、保健所と福祉事業所等による実行委員会を立ち上げ、地域の担い手を巻き込んで現場のニーズを拾い上げ、京都丹波地域独自で福祉職場就職フェアや職場定着促進事業等の取組を実施。
3	南丹広域振興局 企画総務部企画振興室	大自然の中で思い出を☆ 森&里山wedding推進事業 各地域振興会、地元事業者、若手メンバーなど多様な主体が参画するプラットフォームを設置して、京都丹波の資源を活かしたフォトウェディングや結婚式を企画・実施。
4	中丹広域振興局 中丹西府税出張所	わかりやすい制度説明資料の作成 複雑な税の軽減制度を1枚のフローチャートにわかりやすく集約。所内だけでなく局・市に横展開。申告案内発送作業省力化及び納税者への説明時間短縮など職員側にも多くのメリット。
5	丹後広域振興局 企画総務部宮津地域総務室、企画振興室	学生・住民との協働による阿蘇海環境づくり活動 閉鎖性水域である阿蘇海の環境づくりの取組を進めるにあたり、NPO国際ボランティア学生協会と地域住民との顔の見える関係を築いたことにより、学生も地元も機運が高まり大規模な活動(カキ殻撤去)を実現。新たな資源活用等の取組も出始めている。
6	総務部 自動車税管理事務所	自管マインド共有への道 ~自管品質、自管プライドそして自管マインド~ 一体感のある職場づくりを目指すため、全職員から改善提案を募集し参画意欲を向上、改善成果の見える化によって更なる活動につながった。所内メルマガの職員発コラムの連載で、会話のきっかけづくりから相談しやすい関係を構築。
7	政策企画部 企画総務課	組織力「じわじわ」向上作戦 課員・アセッサー・管理職を巻き込みながら全職員が参加し、部内一斉5Sタイム、ワークスタイル変革、若手職員勉強会など複数経路で取り組むことによる「じわじわ作戦」で、職員一人ひとりの意識が向上。
8	府民生活部 消防安全課	大学生消防防災サークル支援事業「京都学生FAST(Fire and Safety Team)」 大学のサークルという位置づけで消防防災活動に触れる機会を作り、学生の防災意識を向上させ、将来の消防団入団に繋げる取組。各大学に呼びかけ、消防防災サークルの立ち上げを支援し、発足後は各関係機関(消防署、消防団等)と調整を行い、活動をコーディネート。現在8大学213人が活動しており、約20人の大学生消防団員を輩出。
9	府民生活部 府民力推進課	NPOによる中長期的な生活再建支援の仕組づくり 災害時に、NPO等の有する専門性や経験を活かす仕組みをNPO等との協働により検討。さらにNPO等の被災時には、代替え支援や物資などの支援ができる仕組みを構築。今後はこの2つの基本的な仕組みを活用し、NPO等の幅広い参画を促し、それぞれの地域特性に応じた運用をめざす。
10	文化スポーツ部 総合資料館	総合資料館の資料をもっともっと知って ~「京都の魅力・歴史の楽しさ」を発見・発信~ 東寺百合文書や琳派、NHKの朝の連続テレビ小説などに関連した「旬」の展示や講座を開催し、親しみやすい情報発信を工夫したことで、新聞等に取り上げられ、来館者の拡大につなげた取組。展示を契機に、資料館の資料の豊かさ・資料に直接触れられる独自性を幅広く知ってもらい、リピーターの獲得を目指す。
11	文化スポーツ部 植物園、文化政策課	「きょうと☆いのちかがやく博物館」3園館連携(植物園・動物園・水族館)の挑戦 次世代の子どもたちに、いのちの大切さを伝えるため、府立植物園、京都市動物園、京都水族館、(京都市青少年科学センター)が連携し、それぞれの専門分野を活かして、生態系の循環などの幅広いテーマでのイベント等を実施。各施設との交流を通じて、職員の視野を広げるなど、府・市・民の連携効果を発揮。
12	環境部 水環境対策課、公営企画課、建設整備課	マイクロ呑龍広報戦略 個人等が設置する雨水貯留タンク「マイクロ呑龍」の普及促進を図るため、若手職員を中心にキャッチコピーやデザイナーによるロゴ、広報ステッカー等による広報活動を展開。
13	健康福祉部 子育て政策課、少子化対策課	きょうと子育て応援電子マップ 子どもが産まれたことにより、外出が困難となり、家にこもりがちになる現状を解決するため、市町村、子育て支援団体(17団体)、IT事業者が参画し、子育て中の親が必要とする情報源を提供する子育て専用アプリを開発。
14	健康福祉部 家庭支援課	京都府性暴力被害者ワンストップ相談支援センター(京都SARA) これまでは行政、医療、司法、民間支援団体が被害者に対し、それぞれサポートしていたが、関係機関や警察など参画団体が連携し、被害者が安心・信頼して相談できるワンストップの窓口(京都SARA)を設置。
15	商工労働観光部 中小企業技術センター	全員参加で中期事業計画を策定・実行 ~やらされることより、やりたいことを~ 自発的に応募した若手職員中心のワーキンググループで1年掛けて話し合いを重ね、センターのあるべき姿(中期事業計画)を策定し、企業の利便性向上に向けて始動。計画実行の過程においても10のワーキンググループを結成し自発的に運営。
16	農林水産部 経営支援・担い手育成課	グローバル経済における農林漁業のPioneerづくり 府の第1次産業を担うとともに地域を牽引するリーダーとして、農山漁村を守る「総合力」を持った人材を育成する取組を、地域の資源とネットワークを生かして展開。実践的農業研修や西日本初の林業大学校設置、海の民学舎の開校などで、若年層を中心に新規就業者が増加。
17	建設交通部 道路建設課	地域密着・きめ細かな維持管理サイクル これまで橋梁の補修は、橋の工事実績にある業者に発注していたが、清掃・点検や簡単な修繕を地元業者で行うことにより、時間短縮とコスト縮減が実現するとともに、維持管理の地域産業化と地元企業の道路保全意欲が向上。